

ヘルパーステーションめぐみ 介護職員等処遇改善の職場要件

区分1 入職促進に向けた取り組み	法人の取り組み
他産業からの転職者、主婦層、中高年など、経験者・有資格者らにこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	無資格者においても認知症基礎研修の受講を推進し幅広い採用枠をも設けている
区分2 資質の向上やキャリアアップに向けた支援	法人の取り組み
働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	経験年数に応じて実務者研修に係る費用支援や研修支援を行っている。また中堅職員に対しても専門的な技術の取得に向けて支援をしている
区分3 両立支援・多様な働き方の推進	法人の取り組み
有給休暇が取得しやすい雰囲気・意識づくりのための具体的な取得目標（例えば、1週間以上の休暇を年に〇回取得、付与日数の内〇以上を取得）を定めたうえで、取得状況を定期的に確認し、身近な上司から積極的な声掛けを行っている	時間単位の有給休暇を認めるとともに、週ごとの勤務シフトにより申告しやすい仕組みを設けている。有給・欠勤・早退管理表にて個々の有給取得率を管理し身近な上司に状況を伝達している
区分4 腰痛を含む心身の健康管理	法人の取り組み
介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、雇用管理改善のための管理者に対する研修などの実施	年間研修において雇用管理改善のための研修を実施している
区分5 生産性向上の取り組み	法人の取り組み
⑩業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	記録ソフトの導入により記録・報告様式の工夫や共通ソフトのアプリにより情報共有を図っている
介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記がふようなもの。）情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	介護ソフト：介舟を導入し業務の効率化を図るとともに、スマートフォンを導入し業務の効率化を図っている
⑭ 各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入といった事務処理部門の集約、共同で行う ICT インフラの整備、人事管理・福利厚生システムの共通化など、協働化を通じた職場環境の改善	各担当者による購入指針・計画を通じ、それらを各担当者が協働して業務にあたり、そして事務処理部門に集約し管理している。そして外部委託会計事務所による評価をもとに職場環境の改善に努めている
※ 1法人で1事業所・施設のみを運営するような小規模な事業者は、⑭を実施していれば生産性向上の取り組みの要件を満たせるという特例もある。	
区分6 やりがい・働きがいの醸成	法人の取り組み
ミーティングなど職場内コミュニケーションの円滑化により、個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境、ケア内容の改善	定期的なミーティング以外にもイベントやプログラムに応じて個々の職員の気づきの発言の場を設けケア内容の改善に努めている